

安曇野さんさん通信 第13号

2021(令和3)年2月27日発行

GIGA スクール構想 小中学校に1人1台の端末が導入されます

国が推進する GIGA スクール構想により、市内では17小中学校に高速通信ネットワークと1人1台の端末が整備されます。先日、福祉教育委員会では勉強会を行い、導入される端末「Chromebook」を実際に操作しました。Chromebook はセキュリティの高さに定評があり、クラウド上の容量を無制限に利用でき、米国の教育分野におけるシェアは70%とのこと。導入スケジュールは、2～3月に教員へ導入研修、3月までに全17校の高速通信ネットワークの工事を完了し、4月から授業での運用が始まります。並行して、運用ルールは「ICT教育推進委員会」が3月末までに定めるとのことです。

実際に操作し「わかりやすく使いやすい」と感じました。最もよく使う「classroom」というアプリケーションでは、先生からの通知、課題の配布、アンケートや小テストがペーパーレスでやり取りでき、集計や採点までオンラインで完結するので、現行に比べると、教師の手間が70%減るそうです。先生から一人一人の生徒へのフィードバックやアドバイスも可能で、今年導入が完了した「電子黒板」と組み合わせた効果的な運用が期待されます。とはいえ、未知数の部分も多いのは確か。福祉教育委員会でも研究し提言していきたいと考えています。

土地利用基本計画等の見直し

安曇野市では福祉施設の設置が「特定開発」に分類され、事前説明会の開催や、各種手続きにも時間を要するため、近隣の自治体に比べ福祉施設が設置しづらいとの声が多数寄せられました。これは土地利用条例に基づく『安曇野市土地利用基本計画』が根拠となるものです。2019年9月議会の一般質問にて、福祉施設の設置緩和について、特に障がい者の生活の場や相談所の設置に際して、集落を形成する「田園環境区域」においても「特定開発」の手続きが求められるのは、2016年施行の「障がい者

差別解消法」に反するのでは、との趣旨で取り上げ、制度や、福祉課と都市計画課等の部署間連携における改善を求める質問をしました。

今回、10年ぶりの土地利用条例および『安曇野市土地利用基本計画』の改定において、この点が改善され、「田園居住区域」「田園環境区域」「山麓保養区域」で、障がい者施設、相談支援施設等が特定開発によらず設置可能となりました。こうした動きが、多様性を認め合う社会の実現に近づける一歩になればと思います。

<トピック>

～小林ようこ後援会総会を中止のお知らせ～
例年2月頃に開催の後援会総会ですが、昨年に引き続き、コロナウィルス感染予防のため、中止といたします。さんさん通信、HP、Facebook ページにて不定期に、市政の動きや活動報告をしております。ぜひご覧頂き、ご意見をお寄せください。

発行 小林ようこ後援会
安曇野市穂高 8108 番地 TEL 0263-82-6090
e-mail yoko@sunnydayazumino.com
URL <http://www.sunnydayazumino.com/>
Facebook「小林ようこを応援しよう」

～安曇野市議会議員 小林ようこ活動レポート～

立春が過ぎ、少しずつ昼間が長く感じられるようになりました。いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍が始まり1年が経過しました。この間休むことなく感染症と闘ってくださっている医療・介護従事者の方々に改めて感謝申し上げます。

手洗い、検温、うがい等の感染予防に気を付けながら、散歩や体操で気分転換したり、体を温めてゆっくりするなどして、気持ちを楽に過ごしましょう。



「安曇野、よいまちつくろう」～ 安曇野を深掘りし、発信します～

～2021年の活動に向けて～

今年は市議1期目の最終年で、10月に市長選挙と市議会議員選挙が行われます。様々なご意見をお寄せ頂く中で、引き続き市政に関わらせて頂きたいと考えております。

3年前、「農家のヨメ、子育て中のママ」として、市民の声を行政に反映する一端を担いたいと願い、議員に手を挙げさせて頂き、多くの力強い後押しを頂きました。今改めて感じるのは、眼前の課題が解決しても生活や住みやすさが劇的にはよくなる、ということです。

より一層、住みやすく、将来に希望が持てる安曇野市にするには、誰ひとり取り残さない、やさしい地域社会を本気でつくっていく覚悟をもって、皆で一丸となって取り組むことが必要です。時間も手間もかかるかもしれませんが、市民の皆様からご意見をお寄せ頂きながら、議員同士や行政担当とも情報や意見を交換し、課題解決を図りたいと考えています。さらなるご支援ご指導のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

